

2020 年度仙北市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

2019 年現在の本市における水稲の作付面積は、3,265ha となっており、市全農地の 67% を占めている。湿田が多いことから非主食用米への転作に占める割合が高い。

水田転作の状況は飼料作物、そば、大豆の作付割合が高く、ほ場整備が進んでいる平場の神代地区や角館地区では大豆、枝豆、麦などが、また、中山間地域ではそばの転作が増加している。一方、田沢地区、桧木内地区については農家戸数の減少に伴い担い手不足が深刻化しており、耕作放棄地の増加が懸念されている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に対応した良食味米、良質米産地として評価を高めて行くことが重要である。このため、主力品種「あきたこまち」の 1 等米比率のさらなる向上や、付加価値の高い米の生産に取組み、需要に対応した生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

今後、主食用米の需要量の減少が見込まれていることから、産地交付金を活用した複数年契約への誘導を図り、直播技術の導入や、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積、集約化を進め生産拡大に取組む。

イ 米粉用米

米粉用米はきぬのはだ、たつこもちといったもち米の品種による取組みが行われ、多収品種並の収量が期待されている。産地交付金を活用した複数年契約への誘導を図り、直播技術の導入や、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積、集約化を進め生産拡大に取組む。

ウ 新市場開拓用米

産地交付金を活用した複数年契約への誘導を図り、JA 等集荷業者と連携し輸出用米等の生産面積の拡大を推進していく。

エ WCS 用稲

WCS 用稲は市内全域で取組が進められており、出荷数量も比較的安定していることから、供給先の畜産農家との調整を図りながら、生産面積を拡大する。実需と連携を図り、供給面積の拡大に努める。

オ 加工用米

水田活用の直接支払交付金を活用して支援する。

カ 備蓄米

備蓄米については、主食用米価格を参考に落札価格が設定されることから、時勢を見ながら対応していく。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、重点的な転作作物と位置づけ作付推進をしてきたが、今後も担い手への集約、団地化及び水田の高度利用を進め生産面積の拡大を図る。さらに産地交付金を活用し、収益力向上に資する取組の支援を図る。

飼料作物については、栽培管理・肥培管理を徹底し、栽培面積を維持しつつ粗飼料の自給率向上を図ると共に、畜産農家との連携を強化しながら資源の有効利用を推進していく。

(4) そば、なたね

そばについては、中山間地域での有益な転作作物として、適地適作を行いながら、明渠排水等による排水対策を実施することで生産や品質の向上を図る。また、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積を進め、不作付地等からの作付を誘導する。さらに産地交付金を活用し、収益力向上に寄与する取組の支援を図る。

なたねについては、取組なし。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金を活用し、仙北市重点作物を中心に生産面積の拡大及び本作化を推進していく。

地力増進作物については、基盤整備事業によって整備される大区画ほ場へ、翌年度以降の作物の収益力向上を目的に、ほ場の透水性や土壌環境等の改善を期待し作付を行う。

(6) 畑地化の推進

果樹等の高収益作物を中心に畑地化を推進していく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の 作付面積	当年度の 作付予定面積	2020年度の 作付目標面積
	(ha)	(ha)	(ha)
主食用米	2,685	2,600	2,600
飼料用米	48	89	89
米粉用米	13	8	8
新市場開拓用米	11	10	10
WCS用稲	82	97	97
加工用米	302	340	340
備蓄米	125	50	50
麦	18	20	20
大豆	190	210	210
飼料作物	341	395	395
そば	308	311	311
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	328.2	350.0	350.0
いちご	0.5	0.5	0.5
キャベツ	5.3	5.3	5.3
ほうれんそう	4.3	4.3	4.3
ねぎ	15.9	15.9	15.9
えだまめ	28.8	30.0	30.0
アスパラガス	8.8	8.8	8.8
そらまめ	4.5	4.5	4.5
山の芋	2.1	2.1	2.1
しいたけ	0.8	0.8	0.8
にんにく	6.4	6.4	6.4
その他野菜	137.0	140.8	140.8
菊	2.9	2.9	2.9
小菊	0.8	0.8	0.8
ダリア	1.0	1.0	1.0
トルコギキョウ	0.3	0.3	0.3
りんどう	10.4	10.4	10.4
アスター	0.7	0.7	0.7
ケイトウ	1.7	1.7	1.7
その他花き	3.2	3.5	3.5
ぶどう	1.1	1.1	1.1
その他果樹	15.3	15.7	15.7
地力増進作物	62.7	80.5	80.5
その他作物	13.7	12.0	12.0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度(実績)	目標値
				(2019年度)	(2020年度)
1	いちご、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、えだまめ、アスパラガス、そらまめ、山の芋、しいたけ、にんにく、菊、小菊、ダリア、トルコギキョウ、りんどう、アスター、ケイトウ、ぶどう（基幹作物）	仙北市重点作物作付助成	作付面積	96.3 ha	97.5 ha
			取組面積	85.8 ha	87.0 ha
2	大豆（基幹作物）	収益力向上対策助成		(2019年度)	(2020年度)
			作付面積	189.9 ha	210.0 ha
			取組面積	125.6 ha	150.0 ha
3	小麦（基幹作物）	収益力向上対策助成	10a当たり収穫量	162 kg	170 kg
			作付面積	17.9 ha	20.0 ha
			取組面積	16.2 ha	17.0 ha
4	そば（基幹作物）	収益力向上対策助成	10a当たり収穫量	298 kg	300 kg
			作付面積	308.4 ha	311.0 ha
			取組面積	11.1 ha	115.0 ha
5	その他野菜、その他花き、その他果樹、その他作物（基幹作物）(具体的作物は別紙2のとおり)	その他振興作物作付助成	10a当たり収穫量	65 kg	70 kg
			作付面積	169.2 ha	172.0 ha
			取組面積		
6	地力増進作物（基幹作物）(具体的作物は別紙3のとおり)	ほ場整備区域地力増進作物作付助成	作付面積	62.7 ha	80.5 ha
			取組面積		
7	飼料用米、米粉用米（基幹作物）	飼料用米、米粉用米の複数年契約への取組支援	複数年契約	(2019年度)	(2020年度)
			取組面積・数量(飼料用米)	0 ha	88.6 ha・491.7 t
			作付面積・数量(飼料用米)	47.5 ha・315.6 t	88.6 ha・491.7 t
			複数年契約	0 ha	8.0 ha・44.4 t
8	そば（基幹作物）	そば作付の取組支援	取組面積・数量(米粉用米)	12.7 ha・73.9 t	8.0 ha・44.4 t
			作付面積	308.4 ha	311.0 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり